

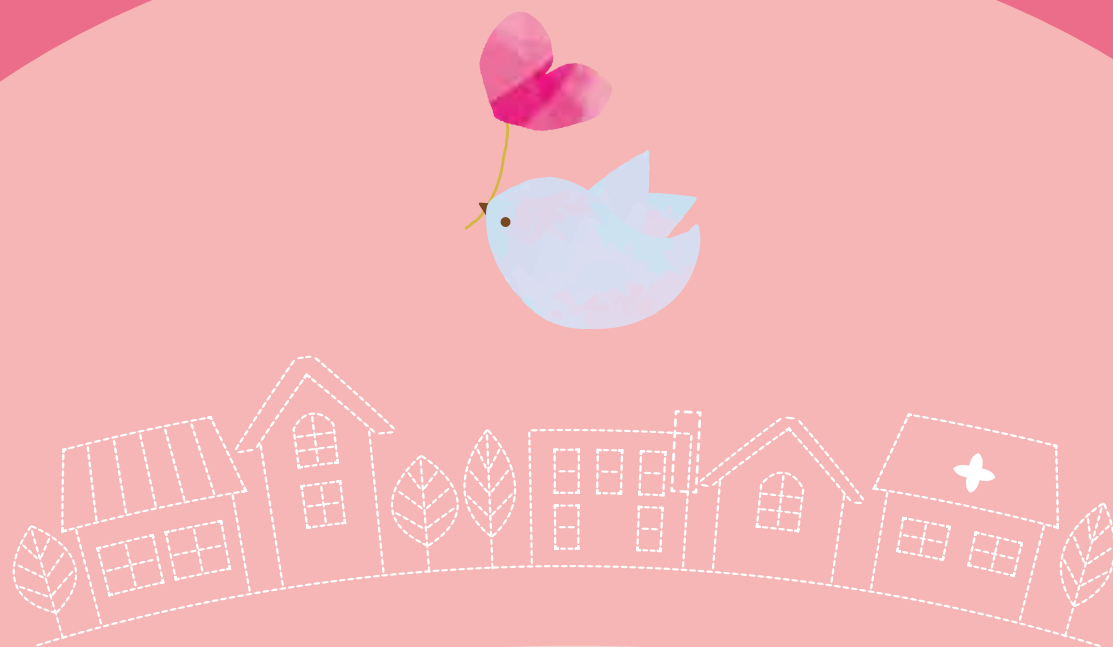
令和2年度

認定特定非営利活動法人はっぴいmama応援団 助成事業実施報告書

独立行政法人福祉医療機構

社会福祉振興助成事業 地域連携活動支援事業

医師・助産師・カウンセラー等
専門家による妊娠期からの虐待防止事業
実施報告



認定特定非営利活動法人はっぴいmama応援団

令和3年3月

医師・助産師・カウンセラー等 専門家による妊娠期からの虐待防止事業

実施期間：令和2年4月～令和3年3月
活動拠点：親とよいこのサポートステーション
はっぴいmamaはうす

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、すべての人々が不安に包まれ、妊産婦への支援の必要性が更に高まった年でした。当法人でも感染症対策をしながら、妊産婦へのサポートを継続してきました。令和2年度の活動の実施結果をここに報告致します。

虐待防止のためのメンタルヘルス事業

【目的】産前産後の精神的負担を軽減し虐待防止のために、専門家が産後早期から関わり早期発見・早期対応を目指す。



メンタルヘルス事業	内 容	開催回数・参加者数
① 座談会の開催	進行役：心理カウンセラー 6組程度の少人数で気持ちを話せる場を設ける	11回開催 延べ41名参加 ★4～7月はリモート開催
② 子育てに活かす心理学講座	講師：心理カウンセラー 心理について学び、自分の気持ちや考えに気づくことにより精神的負担の軽減を図る	10回開催 延べ53名参加 ★4～7月はリモート開催
③ 個別カウンセリング (約60～90分)	希望者に合わせ、心理カウンセラーによる個別のカウンセリングを実施 非会員：通常 10,450円→ 3,500円 会員：通常 8,800円→ 2,500円	延べ36件

【参加者の声】
 (メンタル座談会) 不安を和らげることができ、座談会のあと、1日心が軽くなって過ごせていることを実感しました！子どもとも、いつもより機嫌良く接することができ、子どももいつもよりニコニコ甘えてきたように思っています。
 (心理学講座) 今日の講座で、コミュニケーションのもやもやの要因の多くは自分側にあること、同じ出来事でも自分の受け止め方でプラスにできるんだということを再認識できました。
 (個別カウンセリング) 溜め込んでしまっていた感情を吐き出せたため心が軽くなった。

産前産後支援事業

対象：妊婦さんおよび出産後のママと赤ちゃん

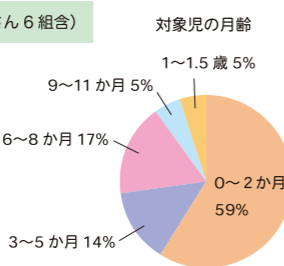
【目的】妊娠期から産後を通して、医師・助産師等専門職に気軽に相談できる場を提供し、養育者に寄り添ったサポートを行うことによって妊産婦を孤立させず、不安等の軽減を図り虐待や産後うつ等の予防へつなげる。助産師・保健師・看護師・保育士等の専門職が主に対応した。



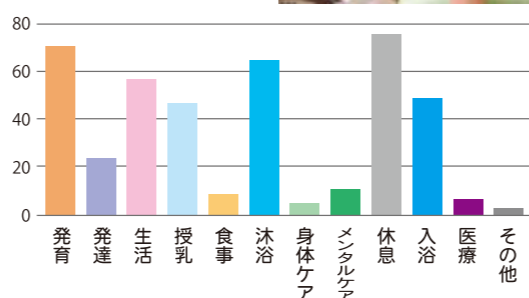
① 産前・産後デイケア

利用者 年間延べ81組 (妊婦さん6組含)

日時：ご希望の日 場所：当施設 個室
母子で来所し、9:30～15:30 児は専門職が預かり、ママは相談や休息・入浴等、希望に応じた過ごし方ができる。昼食付、希望時送迎あり。
通常、会員 13,000円、非会員 15,000円を
1回 **3,000円** (回数制限料金あり)



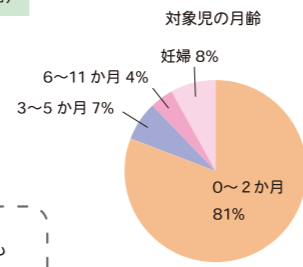
利用目的およびケア内容



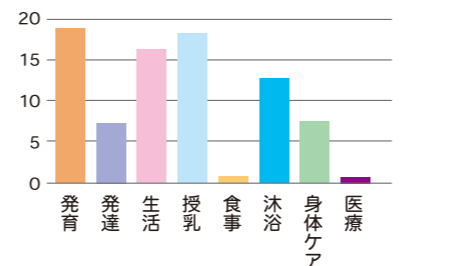
② 産前・産後訪問ケア

利用者 年間延べ25名 (妊婦さん2名含)

助産師・保健師・看護師などの専門職が、ご自宅に訪問。
通常、1回 会員 8,500円、非会員 9,500円を
1回 **2,500円** (回数制限料金あり)



利用目的およびケア内容



【デイケア・訪問ケア内容】
専門職が、ママと赤ちゃんの状態やご希望に合わせて対応。
●妊娠中～産後、ママの体調に関する相談 ●赤ちゃんの成長・発達の観察
●授乳相談 ●赤ちゃんの沐浴指導・介助 など

【利用者の声】

(デイケア) 自分のペースで休んだり、ご飯を食べられたり、とても癒されました。帰宅後、子どもたちがグズる時間帯でもイラつかないで接することができました。

(訪問ケア) ワンオペ育児でいっぱいでしたが、訪問してもらってお話をして気持ちが楽になりました。

事業内容

開催回数・参加者数

③ 育児相談会および居場所事業「ミニサロン」

専門職への育児相談会を開催しながら、同じような発達段階の乳幼児と養育者同士、交流することができた。



【参加者の声】

再開してもらえて、人と話せてとてもリフレッシュできました。

新型コロナウイルス感染症対策

★短時間・少人数・予約制(6組程度)に変更。

年間120回開催
延べ711組(妊婦13名含)
新型コロナウイルス感染症対策
★4、5月リモート264組含む

④ 妊婦向けの居場所開催「マタニティサロン」

妊婦を対象として居場所を開催し、助産師からの知識提供および妊婦同士の交流の場となった。

【参加者の声】

母親教室がない分孤独だったので妊婦さんや助産師さんと話せて嬉しかった

年間7回開催 延べ19名
新型コロナウイルス感染症対策
★リモート5回含む

⑤ 妊婦向け講座

助産師が、沐浴指導や骨盤ケアなど、参加者の要望に応え知識提供を行った。

年間2回開催 延べ4名

⑥ 個別妊婦育児相談

専門職が個別に妊娠や育児に関する相談に応じた。(30分～90分)

延べ107組(妊婦16名含)
新型コロナウイルス感染症対策
★リモート14名含む

⑦ 子育て力向上講座

子育て力向上のために相談の多い「離乳食」についての講座を開催。児の身体的発達について学び、実際に食べさせ自宅での実践に繋げる。

【参加者の声】

とてもためになりました。離乳食をあげる時の、基本的なことだけ見落としていたことを知れて良かったです。

年間8回開催 延べ23組
(8月～開始)

⑧ 小児科医の発達相談会

テーマを決めてミニ講義を実施し、その後医師に質問して直接応えてもらい、気になることがあるときはその後専門職に質問することができる。
主な質問内容：「感染症」「アレルギー」「メディアとの付き合い方」など



年間12回開催 延べ86組
新型コロナウイルス感染症対策
★4～7月はリモート
8月は同時開催

【参加者の声】

県外でも参加できて大変ありがたかったです。コロナが収まっても、オンラインを続けて欲しいです。

⑨ テイクアウトランチ販売

新型コロナウイルス感染症対策

感染症対策のため、居場所でのランチ提供を中止しテイクアウトランチへ変更した。
(1個500円)



【参加者の声】

2月からずっと支援センターなどっていないですし、市の育児相談もないので、色々聞けて安心できました。帰りにテイクアウトで体に優しいごはんを徐々に食べて幸せな気持ちになりました。

延べ552個販売

⑩ 送迎支援

自宅に車がない、産後で運転に自信がないなど、希望に沿い、中央区内と区外は一部送迎を行った。



年間47件利用
※内33件はデイケア利用
14件はサロン利用

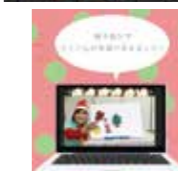
⑪ オンラインイベント開催

新型コロナウイルス感染症対策

手遊びや・小児科の先生とお話し会・専門職からお話し・おもちゃのお話
防災クッキング・抽選会・ヨガなどzoomにて開催



- 5月18日(月) 10:30～15:00 オンラインイベント「周年祭」
- 7月21日(火) 10:00～14:30 オンラインイベント「オンラインmamaはうす拡大版！親子で遊ぼう♪」
- 12月18日(金) 10:00～15:00 オンラインイベント「はっぴいXmas！mamaと赤ちゃんの防災を考えよう！」withバリスシステム新潟ときめき

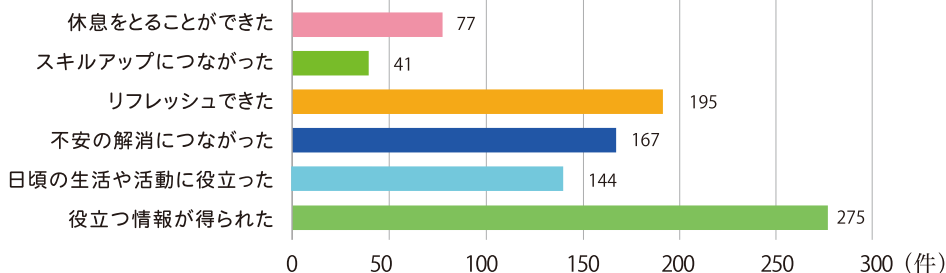
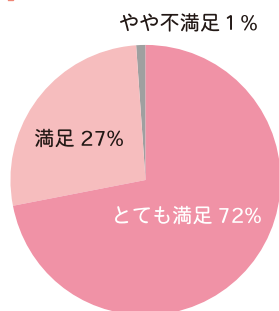


1イベント7～9個のコーナーがあり参加したいものに自宅から参加。聞いてるだけでもOK！複数参加される方もいました。

- 延べ79組 実数25組
- 延べ74組 実数17組
- 延べ126組 実数41組

アンケート結果（自由記載）

【利用後の感想】



【当法人への感想・要望】

- コロナウイルスの影響で市の母親学級が中止になる中、民間でこうした活動があり、とてもありがたかった。
- コロナ禍の特別な状況だからこそ、いざというときに繋がる駆け込み寺があることを多くの方に知ってもらいたいと思いました。
- 父親や祖父母が対象の講座や支援もあつたらいいと思います。それが現代の母親への理解に繋がれば幸いです。

【行政への要望】

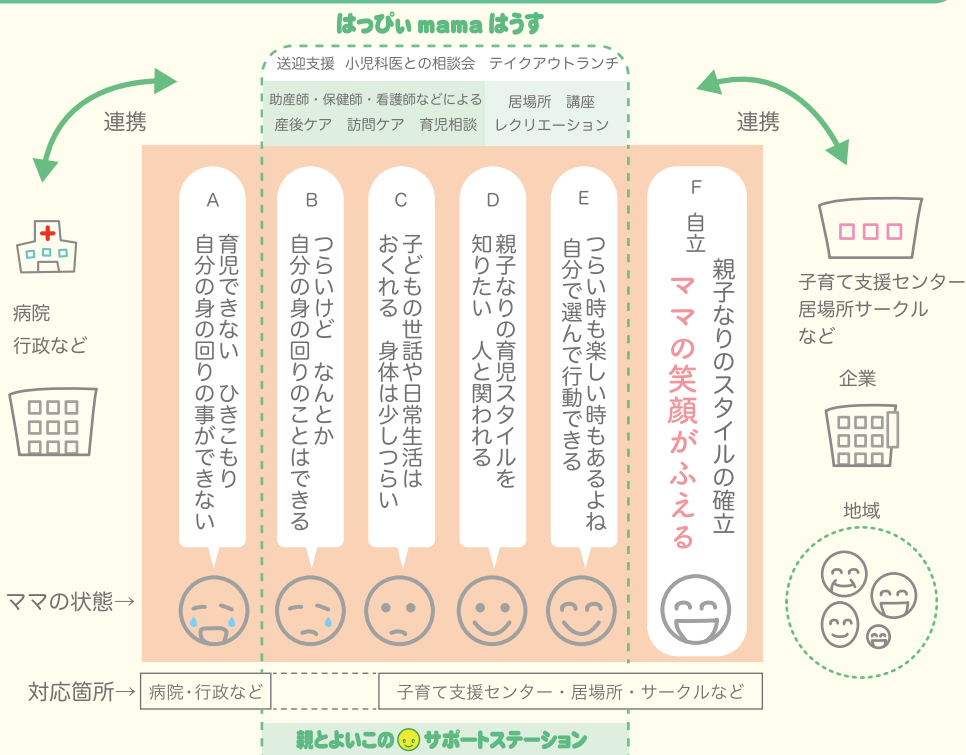
- 今回コロナの影響で、安産教室をはじめ妊婦や出産後のサポート事業が難しい状況だと思います。その代替りのものを準備するのは難しいと思いますが、オムツ券など他の形でサポートしていただけることを望みます。
- 自分の地域（県央）にも同様の活動・サービスがあつたらいいのに... と思うことがあります。
- 育児に関連する相談ができる窓口はいろいろありますが、親が自分自身の話ができる子育て支援の窓口は多くないと思います。

小児科医・助産師・保健師・看護師が地域で手を繋いだ「妊娠期からの切れ目ない包括的支援」

子育て中は誰もが図の A～F を揺れ動いています。

親とよいこの😊サポートステーション はっぴい mama はうす

は、小児科医と助産師・保健師・看護師などの専門職が B・C のような少し辛いママの身体的・精神的なケアを提供できることが最大の特徴です。さらに、居場所や学びの場を提供し、その時々状態に合わせた支援活動をしています。また、行政機関など他の機関とも連携し、地域の中でママの笑顔を支える活動をしています。



新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、全世界に大きな影響を与え、安心して過ごせるようになるのはいつになるのか、現在も収束の目途がたちません。コロナ禍で、虐待、うつ・離婚・自殺等が増えているとの報道もあり、子どもたちへの様々な影響が懸念されています。コロナ禍で活動する中、私たち支援者ができることは、今出逢うことができるひとりひとりの養育者と見に向き合い、今できることを共に考えサポートすることであると痛感しました。今後も、いつでも駆け込み寺として存在し、活動を継続していきたいと考えています。

最後に、日頃より、当法人の活動にご理解とご協力をいただいている皆様に厚くお礼申し上げます。今後とも、よろしくお願いたします。

令和3年3月
特定非営利活動法人 はっぴい mama 応援団



認定特定非営利活動法人 はっぴい mama 応援団

代表理事 松山由美子

親とよいこの😊サポートステーション はっぴい mama はうす

〒950-0983 新潟県新潟市中央区神道寺 1-5-44 TEL 025-278-3177 (月・火・木・金 10:00~15:00)
mail : npo.hmo@gmail.com ブログ <http://ameblo.jp/happy-mama-house>
<連携団体> よいこの小児科さとう医院



ホームページ